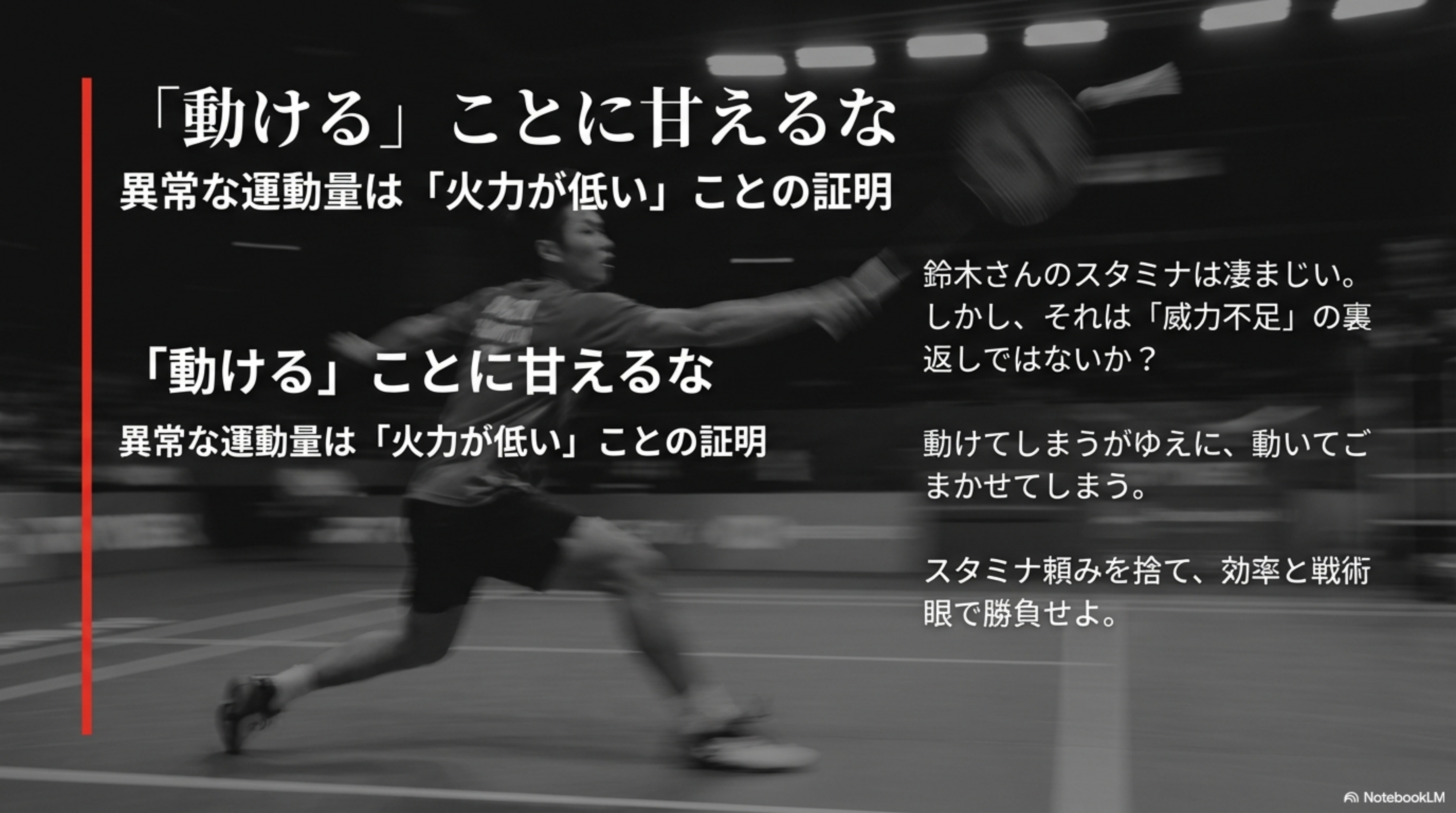




「感動ショット」は 相手への覚醒剤

敗北の瞬間に試される「人間力」と、勝てる組織のラリー論



「動ける」ことに甘えるな
異常な運動量は「火力が低い」ことの証明

「動ける」ことに甘えるな
異常な運動量は「火力が低い」ことの証明

鈴木さんのスタミナは凄まじい。
しかし、それは「威力不足」の裏返しではないか？

動けてしまいがゆえに、動いてごまかせてしまう。

スタミナ頼みを捨て、効率と戦術眼で勝負せよ。

努力の定義

「努力とは、
馬鹿にされるのが
デフォルト」

周りから理解されるレベルなら、それはまだ努力ではない。
笑われるくらいの熱量で突き進むこと。それが通過儀礼だ。

負けそうな時、 顔に出ていませんか？

「自分は悪くない」というアピールは、
人間力の敗北

- ✕ パートナーのせいにする
- ✕ 環境のせいにする
- ✕ 「いいショットは打ったのに」という表情

その瞬間の振る舞いこそが、あなたの本質だ。



自己肯定 (Self-Affirmation)

「自己肯定」を捨て、
「自己否定」のメスを持て

自己否定 (Self-Denial)

過度な自己肯定は「変わらなくていい」という現状維持バイアスを生む。
健全な自己否定こそが、成長の唯一のエンジンである。

なぜ、ナイスショットが命取りになるのか？



2つの哲学：実際の試合動画分析から見えた決定的違い

なお様 (Nao-sama)



自己満足
(Self-Satisfaction)

レイ様 (Rei-sama)



信頼
(Trust)

分析：なお様

- 動き出しが早く、キレキレ
- リスクの高いショットを連発
- ラリーをぶっ壊す

「自分は楽しいが
もしれないが、
周りは練習に
ならない」

The Trap: Self-Serving Flashiness

分析：レイ様

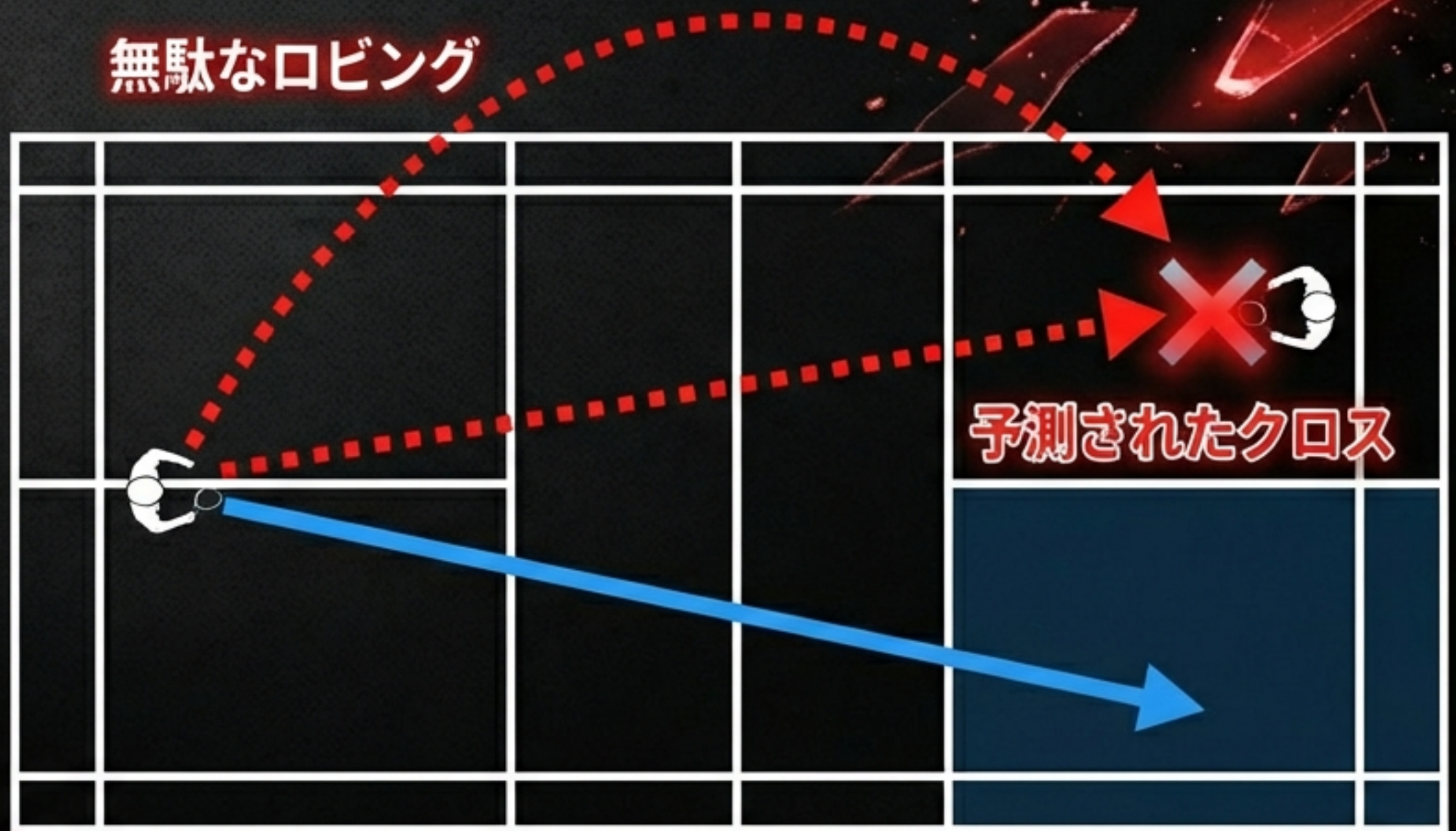
- どんな球でも丁寧に繋ぐ
- 無理に決めに行かず、相手の自滅を誘う

「インターハイには出られていないが、強い。好き」

信頼され、最終的に勝つのはこのタイプ。

「謎ラリー」を撲滅せよ

- 無駄なロビング合戦をやめる
- フォア待ちされているのにクロスに打たない
- 前に出るのを遅れない



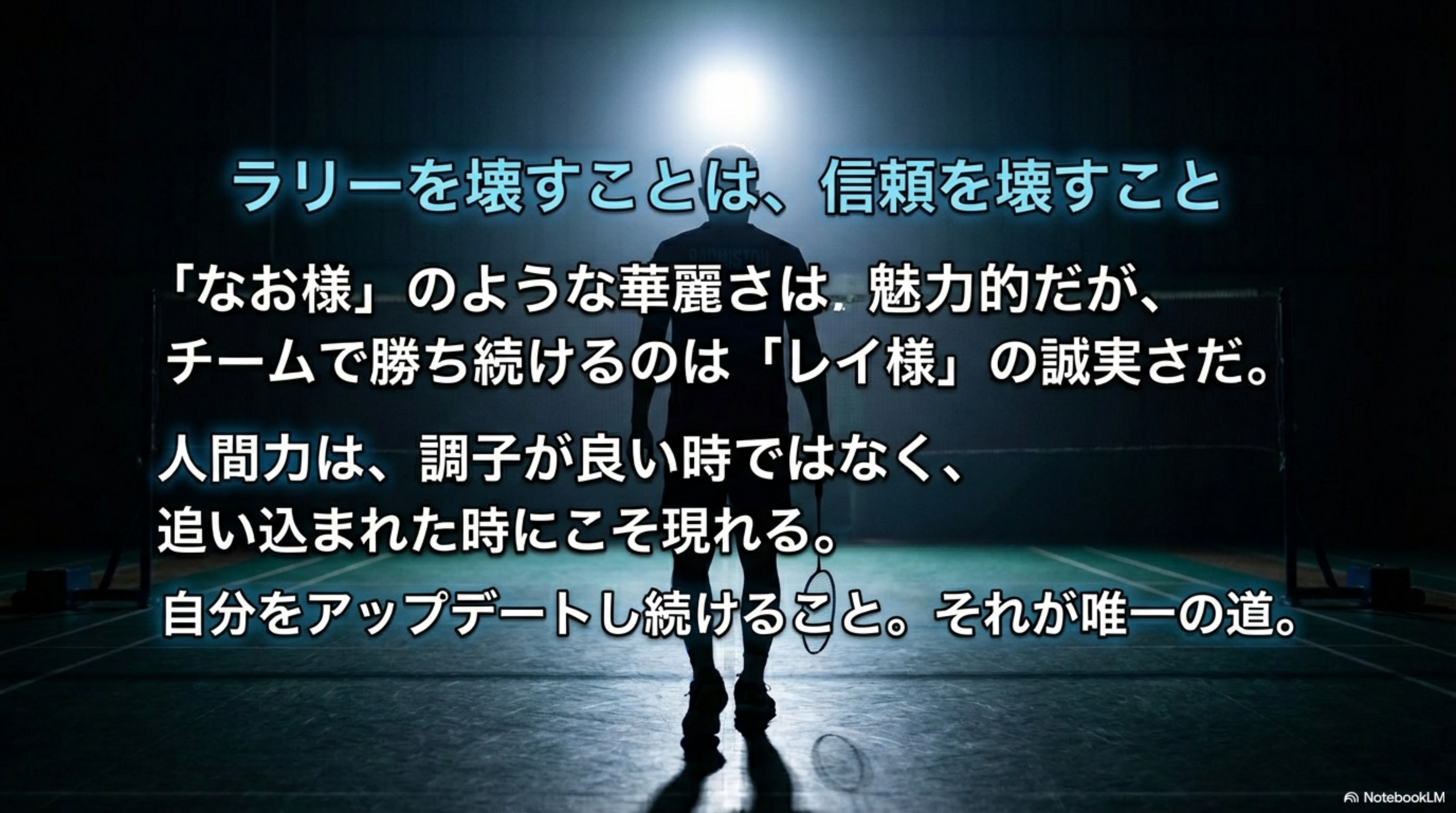
意図のない配球をやめ、相手の嫌がることを淡々と遂行する。

コーチング的5つの学び

- 1 努力** 笑われるのがデフォルト。
- 2 人間力** 敗北の瞬間の振る舞いに出る。
- 3 自己否定** 現状維持を切り裂くメスを持て。
- 4 覚醒剤** 「感動ショット」は諸刃の剣。
- 5 脱・自己満足** ラリーを壊すな、信頼を築け。

今週のアクションリスト

- ☐ 負けそうな時、言い訳を顔に出さない
- ☐ 「なお様」プレイ（一発屋）を封印する
- ☐ 相手をノラせない「丁寧な強さ」を意識する
- ☐ 自分が「動かされている」のか「動いている」のか見極める



ラリーを壊すことは、信頼を壊すこと

「なお様」のような華麗さは、魅力的だが、
チームで勝ち続けるのは「レイ様」の誠実さだ。

人間力は、調子が良い時ではなく、
追い込まれた時にこそ現れる。

自分をアップデートし続けること。それが唯一の道。

さあ、本物の「眼」を養おう

このレポートは、2日間の激闘のほんの一部に過ぎません。
「なお様」と「レイ様」の決定的な違い、コーチの生の声、
そして現場の空気感。すべては動画の中にあります。

▶ オンライン教室の動画を見る

WATCH THE FULL SESSION



Badminton & Leadership Coaching
Next Session: 2026.02

Change the Paradigm.